

平成23年4月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成23年4月20日（水）午後3時00分
- 2 閉 会 平成23年4月20日（水）午後4時40分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 前回会議録の承認
- 4 審議事項
報告第1号 三木市高齢者大学学長の委嘱について
報告第2号 三木市青少年補導委員の委嘱について
議案第1号 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について
- 5 その他
- 6 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教 育 委 員 長	里 見	俊 實
	2番	教育委員長職務代行者	水 島	慶 子
	3番	教 育 委 員	稲 見	秀 穂
	4番	教 育 委 員	井 口	徹
	5番	教育委員（教育長）	松 本	明 紀
事務局		教 育 部 長	椿 原	豊 勝
		教 育 総 務 課 長	清 水	正 則
		教育環境整備課長	井 上	博 務
		学 校 教 育 課 長	穂 積	正 則
		文化スポーツ振興課長	松 村	正 和
		教育センター所長	梶 本	佳 照
		図 書 館 長	告 野	幹 也
		教育総務課課長補佐	稲 岡	孝

傍聴者 0人

◇ 会議内容

1 開 会

里見委員長が、平成23年4月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

里見委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、水島委員長職務代行者と松本教育長を指名した。

3 前回会議録の承認

里見委員長が、平成23年3月定例会及び3月臨時会（3月18日及び3月23日開催）の会議録の承認について諮り、全員一致で承認された。

4 審議事項

【報告第1号】三木市高齢者大学学長の委嘱について

- 清水教育総務課長が次のように説明した。

三木市高齢者大学の学長として、岩波孝昭氏を平成23年4月1日から平成25年3月31日までの2年間の任期で委嘱したものである。略歴を別紙として添付している。

【報告第2号】三木市青少年補導委員の委嘱について

- 梶本教育センター所長が、次のように説明した。

補導委員5人を改選したものである。

補導委員の任期は、本来、平成23年度からの2年間であるが、自治会役員、PTA役員の交代により、改選が必要になったために、新たに委嘱したものである。

里見委員長が、報告第1号及び報告第2号について採決を行い、全員一致で原案のとおり承認された。

なお、審議の過程において、委員から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第26条）に定められた事務委任除外事項の他にも、三木市教育委員会規則及び訓令で多くの項目が委任除外事項として定められているが、これらの見直し、整理について検討を求める旨の発言があった。

【議案第1号】三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について

- 清水教育総務課長が次のように説明した。
市立自由が丘小学校において、顕彰基準を満たす寄附（個人10万円相当以上）を受けたので、当該寄附者に対して、感謝状を贈呈しようとするものである。

里見委員長が、議案第1号について採決を行い、全員一致で原案のとおり可決された。

5 その他

(1) 協議事項

なし

(2) 報告事項

ア 三木市放課後児童健全育成(アフタースクール)事業実施要綱の一部改正について

- 清水教育総務課長が次のように報告した。
主な改正内容は、現行の「土曜保育利用申請書」、「延長保育利用申請書」をそれぞれ「土曜保育利用届出書」、「延長保育利用届出書」に改めたことと、三木第2アフタースクールほか3アフタースクールの定員を変更したものである。

申請書を届出書に改めた理由は、アフタースクールの利用に際して既に申請書が提出されているため、付加的な利用となる土曜保育、延長保育については、申請ではなく届出で良いと判断したためである。

また、定員の増加は、入所児童数の増加に対応するためである。

(委員) アフタースクールの入所児童数は毎年、増加しているのか。

(事務局) 今年4月の入所児童数は523人であり、昨年同期比24人の減である。

(委員) 入所児童数が減少しているのに、定員を増やすのか。

(事務局) 三木市のアフタースクール全体では減少しているが、今回定員増を行った4事業所では、入所児童数が増加している。

イ 学校教育課の主要行事等について

○ 穂積学校教育課長が次のように報告した。

4月15日に第1回の定例校園長会を開催し、①平成22年度生徒指導関係のまとめ、②特別支援教育の推進、③三木市小中連携教育、④平成22年度基礎学力定着化事業の結果等について報告、周知した。

なお、基礎学力定着化事業については、国語及び算数・数学の調査を各年交互に実施しており、平成22年度の算数・数学の結果は、前回平成20年度に実施した結果と比較して約3ポイントから4ポイント上昇した。

また、全国平均と比較して、小学校で7ポイント強、中学校で約10ポイント高い結果となった。

学校の主要行事については、4月7日に始業式、8日に中学校、特別支援学校入学式、11日に小学校入学式、12日に幼稚園入園式が執り行われた。新学年を迎えた子どもたちは、気分一新し、頑張って新しい学年生活を送っていると報告を受けている。

その他、本日、自由が丘東小学校において、今年度の市内全学校の教科・教科外研修部会を行い、担当教職員が新年度の方針を策定している。

(委員) 基礎学力定着化事業の結果が良かった原因は何か。

(事務局) きめ細かな指導がなされた結果であると評価している。

特に算数・数学については、1つの学級を2つに分ける少人数授業を小学校から取り入れており、その成果も出ているのではないかと考えている。

(委員) これだけ良い結果が出ているのだから、三木市の教育はこれだけ向上しているということをもっとPRし、若者の定住につなげてほしい。

ウ 教育センター・青少年センターの主要行事等について

○ 梶本教育センター所長が次のように報告した。

研修事業として4月5日に、学年当初の学級経営を円滑に進めるための専門講座「学級経営の壺」を開催したほか、11日には、学校Webサイトの充実を図るために「学校Webページ作成」専門講座を開催した。

また、青少年センターでは、4月10日の金剛寺春祭りに合わせて特別補導活動を実施した。

エ 文化スポーツ振興課の主要行事等について

○ 松村文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

3月20日に実施予定であった第18回みっきいふれあいマラソンについては、会場の三木総合防災公園が東北地方太平洋沖地震の被災地救援物資の搬入場所となったことから、開催直前に中止せざるを得なくなった。

ミキシル（三木のことをもっと知るプロジェクト）の一環として、3月26日に教育委員会で実施した付城のろしりレー、歴史講演会には、それぞれ144人、200人の参加があった。

3月28日、29日に実施した、みっきいジュニアゴルフ塾春季講座には、延べ94人の参加があった。

また、今後の事業予定として、本日から5月5日までの間、堀光美術館で第13回アート・フェス公募展を開催する。最終日には表彰式を行う。

5月3日に、ふれあいスポーツデーとして三木ホースランドパークで、宝探しハイキングやニュースポーツチャレンジなどの行事を予定しているほか、5月5日には、展示解説ボランティアの協力により埋蔵文化財展示室の公開を予定している。

その他、新規事業として、スナッグゴルフペア大会を5月15日に、ホースランドパークで開催する。参加対象者は小学生とその保護者のペアとし、36組72人を募集中であり、現在23組の応募をいただいている。

(委員) ジュニアゴルフ塾の対象は中学生以下で高校生は入っていないのか。

(事務局) この事業は、競技人口の裾野を広げる趣旨で行っているものである。高校生になるとプロをめざすような専門的な指導が必要になることも考えられるため、対象に含めていない。

(委員) ミキシルの付城のろしりレーは、この近辺では非常に珍しい、面白い企画だと思った。より広く周知するための記者発表はされたのか。

(事務局) ミキシルの一環として記者発表を行ったほか、ポスターや車内吊りチラシ、新聞折込などのPRを行った。

(委員) せっかく面白い事業を行っているのに、広報が足りなかったのではないかと感じた。

(事務局) ミキシルの一環としてのPRは行ったが、のろしりレー単独のPRはできなかった。

(委員) 教育委員会と観光振興課が一緒になってやった良い事業だと思ったので、新聞記事にならなかったことがちょっと寂しい感じがした。

別所公春まつりのときの、紙で作った甲冑を着て毎年行

われている武者行列も面白い事業だと思った。

オ 図書館の主要行事等について

○ 告野図書館長が次のように報告した。

おはなし会について、平成23年度は、三木と青山でこれまでの月2回実施から、毎週土曜日実施へと拡充を図った。

また、5月9日に第3回目の第2次図書館活性化構想検討委員会を開催する予定である。

その他、三木図書館で5月23日から5月31日までの間、蔵書の点検・整理等のために臨時休館を予定しているほか、吉川図書館、青山図書館等でも蔵書点検のための臨時休館を予定している。

(委員) 図書館活性化構想検討委員会についてはどのような状況か。

(事務局) 2月に第1回目の委員会を開催し、第1次活性化構想の成果の検証を行った。

その後、3月の第2回目の委員会では、3月広報に発表された移転計画について説明し、御意見をいただいた。

3月市議会での予算可決を受けて、第3回目の委員会では、教育センターへの移転を前提にした構想案を検討いただきたいと考えている。

その後、6月頃に第4回目の委員会を予定しており、そこで検討委員会の意見をまとめたいと考えている。

(委員) 構想検討委員会にはそれぞれの分野の専門家の方もいらっしゃるの十分議論してもらい、良い案をまとめていただきたいと思っている。

最終決定は、教育委員会か市長か、誰が決定することになるか。

(事務局) 教育委員会で決定いただきたいと考えている。

6月の構想検討委員会で構想案が固まった後、教育委員会

にお諮りし、その後、パブリックコメントを実施して9月の定例教育委員会で決定いただきたいと考えている。

(委員) 図書館の蔵書点検に伴う臨時休館について、休館をしなければ蔵書の点検、整理等は行えないのか。

(事務局) 休館が必要であると考えている。蔵書数にもよるが、三木図書館であれば今年度は9日程度の休館日数が必要である。

(委員) 図書館の役割上、長期間休館することが良いのか疑問を持っている。

今後の課題として、一度議論していただきたい。

(委員) 図書の整理に時間が必要なのか、合わせて行われている害虫駆除に時間がかかるのか。いろいろなことを1度にやろうとすると本当にそれだけの時間が必要かもしれない。

市民の立場からは、休みが無い方がありがたいが、それでも休館するだけの効用があるということか。

(事務局) 休館しなければならないと認識している。

年末年始を除き、通年開館していると、所定のところに返却されていない図書や行方不明の図書も出てくる。そうすると、図書の検索等に時間を要することになり、かえって、利用者に迷惑をおかけすることになるので、定期的に点検、整理をする必要があると考えている。

青山図書館や吉川図書館などは、三木図書館と比較して蔵書数が少なく、また、新しい施設であることから整理に要する時間は短くてすむ。

(委員) 所定の場所に返却されない理由、返却されるようにするための方法、サービスの向上、蔵書の良い保存など、問題点を整理して、休館期間を短くすることはできないか。

(委員) 開館したままで点検ができないかということについても検討いただきたい。

(3) 次回定例教育委員会の開催日時について

里見委員長が、次回の定例教育委員会の開催予定日時について諮り、平成23年5月25日(水曜日)、午後2時から開催することを決定した。

6 閉 会

里見委員長が、平成23年4月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。